活動計画概要

緩和ケア部会

平成23年5月3 資料５－１

全体目標

がんにより死亡する人の減少
がんの年齢調整死亡率（75歳未満、人口10万人当たり）を平成29年度までに20%減少させる。

すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上

部会が担当する分野の課題と目標

【目標】
あるべき姿　質の高い緩和ケア医療の提供

中期目標	除痛率の指標を作る	最終目標	除痛率調査方法のベースラインが出来ている
指標	除痛率60%	指標	除痛率90%
測定方法		測定方法	

施策毎のアウトカム目標

- 【アウトカム目標1】平成24年度末までに調査方法が確立する
- 【アウトカム目標1】 平成25年3月までに、すべての患者が緩和ケアを正しく理解し、治療に参加できる必要な機会にアクセスできる環境を整える
- 施策5へ
- 【アウトカム目標3】30年3月末までに基本的な緩和ケア医療ができる医師が630名増加し、一般的な緩和ケア医療ができる医師が210人増加する
- 【アウトカム目標4】30年までに緩和ケア医療ができる医師以外の医療者が2倍増え、25施設の緩和ケアチームの依頼が5倍に増える
- 【アウトカム目標5】25年3月までに看取りを行う施設が2倍に増える

施策毎のアウトプット目標

- 【アウトプット目標】①平成23年度中にWGを作って指標の作成準備
- 【アウトプット目標】(1)25年3月までに拠点・支援病院で主治医からの配布率が50% (2)30年3月末までに配布率100%
- 【アウトプット目標】参加者2年で500名（二次医療圏ごとに、年に1回開催）
- 【アウトプット目標】25年3月までに拠点・支援病院と協議会のHPで情報を発信する
- 【アウトプット目標】25年3月までに宮古と石垣で2回づつ開催
- 【アウトプット目標】●年●月までに、医療者向け緩和ケアれ研修会の企画が出来上がる
- (3-1)23年9月までに緩和ケア研修会未修了者数調査を修了する
- (3-2) ①23年4月から緩和ケア情報シートの分析をおこなう ②23年12月までに一年分のデータ解析をおこない患者さんとのニーズのギャップを明らかにする
- (1)25年3月までに修了者180名増加 (2)30年3月末までに630名増加
- (1)25年3月までに修了者60名増加 (2)30年3月末までに210名増加
- 【アウトプット目標】1年に1回研修会をおこない10人修了
- 【アウトプット目標】1年に1回研修会をおこない10人修了
- 【アウトプット目標】1年に1回研修会をおこない50人修了
- 25年3月までに拠点・支援病院の依頼数が30%増える
- 【アウトプット目標】1年に6回開催180名修了

施策アクションプラン

- 【施策1】除痛率計測の確立をはかる
- (2-1)緩和ケアパンフレット作成
- (2-2)緩和ケア講演会を定期開催
- (2-3)HPの緩和ケア情報を充実させる
- 石垣と宮古での患者会後援と講演会開催
- 【施策2】一般・患者、家族への情報提供を行う
- 【施策3】患者会への協力
- 【施策4】緩和ケア現状調査を実施し、それに基づいた医療者向け研修会を企画する
- 【施策5】緩和ケア研修会の実施
- 【施策6】フォローアップ研修会の実施
- (7-1)がんリハ理学療法士の増員
- (7-2)緩和薬物療法薬剤師の増員
- (7-3)同スキルナースの県内育成
- 【施策7】医療者の増員
- 【施策8】要検討
- 【施策9】看取りを施設で行うための勉強会をおこなう

ワークシート1で導き出された対策項目

- 【対策項目1】指標の確立
- 【対策項目2】患者さんへの正しい情報提供
- 【対策項目3】より多くの医療者への適切な情報提供と教育
- 【対策項目4】チーム医療体制の強化
- 【対策項目5】病病：病診連携の強化